

学校だより
長泉小学校

☆学校教育目標 「自ら考え 高め合いながら 伸びる子」

◎重点目標＝キーワード
重点生活目標

「進んでかかわり合う」
「あいさつがひびき合う学校」

あすなろ

No. 5 平成30年6月5日

「心をつなげた」感動の運動会

校長 日吉美矢子

5月26日に行われた運動会は、暑すぎず、最高の天候の中で行われました。運動会の総練習の中で、「人が感動するときは、多くの人の心と心がつながったと自分も周りも感じた時。練習から心をつなげて一生懸命に取り組み、運動会本番では、みんなの心と力で多くの感動の場面を見せてください。」というお話をしました。その言葉通り、運動会本番は、クラスやカラーの仲間と心と心を合わせ、演技や競技する子どもたちのきらきら輝く姿をたくさん見ることができました。また、6年生を中心として、自分のクラスだけでなく、同じカラーを一生懸命応援する姿にも実にさわやかな気持ちになりました。5・6年生合同の長小ソーランは、下級生の誰もが、「自分たちも高学年になったらあんなふうにかっこよく踊りたい」と思ったに違いない集団の美でした。「超えろ限界 長小魂」のスローガンを胸に刻み、各カラーの団長を先頭にして、1046人の児童で、素晴らしい運動会を創り上げた長小の子どもたちを、とても誇りに感じた一日でした。

「運動会では一番にはなれなかったけれど、練習を通して、クラスの雰囲気はまた一段とよくなり、団結や絆が深まった。」という子どもたちや担任の声も多く聞いています。これまでの練習の過程や運動会当日の頑張りを通じて、子どもたちは、協力したからこそ得られた多くの感動やたとえ負けてしまっても、本気で取り組んだからこそ感じた思いは、思い出の一コマとなり、子どもたちの今後の生活に生かされていくと思います。

大変お忙しい中、多くの保護者・地域の皆様には、子どもたちに熱い声援を送っていただき、ありがとうございました。また、今年度からお弁当を各教室で食べることに御協力いただいたことで、場所取りの混乱もなく、安全面や健康面からもよい運動会ができたことに感謝申し上げます。最後の最後に、得点の事では子どもたちや保護者の皆様に迷惑をかけてしまい、大変申し訳なく思っています。重ねてお詫び申し上げます。



思いやりの心



先日、PTA評議会の後で、ある役員の方がこんな話をしてくださいました。「校長先生、入学したての1年生が、その日は集団下校をせずに、お母さんが迎えに来るのを一人で待っていたそうです。先生たちは、各方面を見なければならぬので、その子についていられず、その子はとても不安だったそうです。それを見た6年生が、その子の側にずっと寄り添って、『大丈夫だよ。もうすぐお母さんが来るからね』と優しく声をかけてくれたそうです。そのお母さんは、慌てて帰ってしまったので、きちんとお礼を言うことができず、すまなく思っていて、6年生の担任の先生たちに伝えてくださいと言っていました。」

日常の場面の中で、優しい行動がとれた6年生は、やはり、さすがだなと思いました。「感じてかかわり合う」、おもいのやりの心の育成は長小の今年度の重点の一つです。学校内外での子どもたちの優しい行動をたくさん見つけていきます。このようなよい行動を見かけたら、ぜひ、学校に御一報いただけたら幸いです。よろしくお願ひします。

運動会 御協力ありがとうございました

本年度の運動会は、子どもたちが教室で昼食を摂るよう変更したことで、過度な場所取り競争がなくなりました。さらに、トイレの開放箇所を増やし周知したことで、近隣店舗に迷惑がかかることもなくなりました。PTA評議会役員、校外指導部員の皆様には、順次パトロールに出ていただきました。保護者の皆様に御協力いただいたことで、気持ちよく運動会が実施できました。ありがとうございました。

